

秋の羽根木公園で出会えた植物・昆虫等

○主な観察地と出会えた生きもの

【樹林地】



この時期、樹林地の昆虫は少なく、林床からモリオカメコオロギの鳴き声が聞こえる程度。鳴き声の特徴はリリリリ、リリリリと区切って鳴く。

樹林内ではヒヨドリ、ハジブトガラス、シジュウカラ、メジロなどの鳴き声が聞こえる。球技広場脇に公園で見られる野鳥の看板が設置されている。

林内の歩道ではスダジイ、シラカシのドングリが拾える。スダジイのドングリはそのままでも食べられるが温めるとさらに美味しくなる。



野鳥の看板



シラカシのドングリ



スダジイのドングリ

【樹林広場】



イチョウ



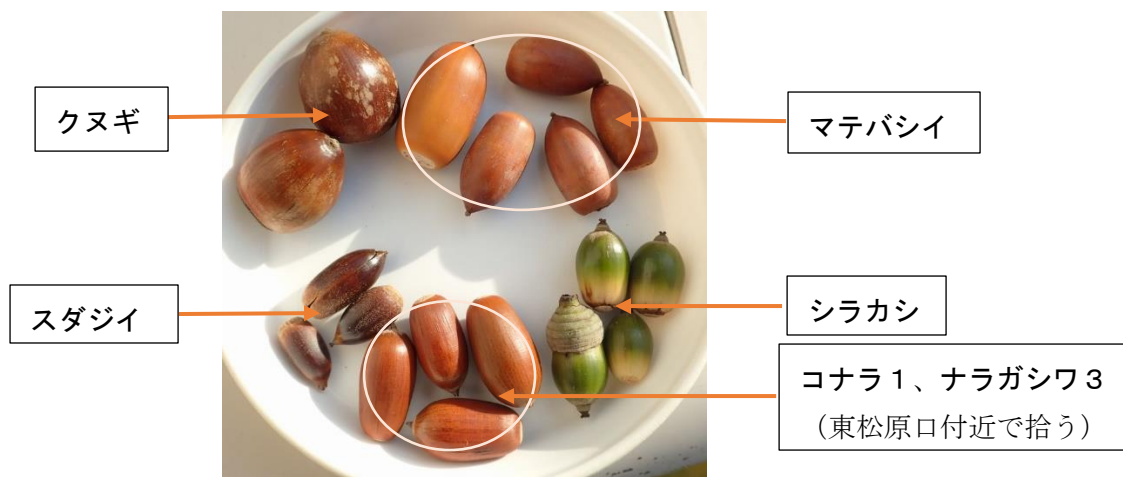
スダジイ

イチョウの黄葉が始まっている。

ドングリのできる樹としてスダジイ、シラカシ、マテバシイ、クヌギがある。マテバシイのドングリも温めると美味しく、ドングリクッキーの材料にも使われる。

球技広場近くにカキ、クリの木がある。ナワシログミの花にはキンケハラナガツチバチ、ヒメハラナガツチバチ、イチモンジセセリなどが集まる。ツチバチ類はおとなしいハチで捕まえなければ射されることは無い。

広場ではキタキチョウ、ウラギンシジミなどのチョウ類が見られた。



スダジイの葉と実（ドングリ）



シラカシの葉



マテバシイの実（ドングリ）
温めて食べると美味しい



クヌギの実（ドングリ）



クヌギの実（ドングリ）



カキ
実が付いていた



ナワシログミの花



キンケハラナガツチバチの♀
おとなしいハチ

【園路】

園路沿いではキタキチョウ、ヤマトシジミ、ナミアゲハ、モンシロチョウなどが見られた。

イチョウの樹の下にはギンナンが落ちており、児童遊園角では木に着いた状態で見られる。

管理事務所近くの花壇ではタイワンホトトギスが満開でセイヨウミツバチ、ヒメハラナガツチバチ、ヤマトシジミなどが訪花していた。

野球場脇のサクラの太い枯れ枝にカワラタケが発生していた。また、トウカエデが園路に沿って植えられており、これから紅葉が期待できる。

パーゴラのある中央園路の西端に実（ドングリ）の付いたシラカシがあり、テニスコート脇には秋の七草のひとつであるススキ（尾花）が生育している。



球技広場脇に落ちていたギンナン



児童遊園角のギンナン



管理事務所近くの花壇に咲く
タイワンホトトギス

ヤマトシジミやハチ類が訪花していた



セイヨウミツバチ



ヒメハラナガツチバチ♀



カワラタケ



トウカエデ
寒くなると紅葉する



シラカシの実（ドングリ）



ススキ
秋の七草の一つである尾花

【草地】

園内には2か所の草地がある。



北の広場



はらっぱ広場

“北の広場”ではカタバミが生育しており、幼虫の食草となるヤマトシジミが地表すれすれを飛んでいる。黄色い花が咲いていると、キタキチョウ、モンシロチョウ、ツマグロヒョウモン、ハナアブ類などが訪花する。

オオバコも多く、良く見ると葉に小さな穴が沢山開いている。これは2mmくらいの

小さなハムシ、オオバコトビハムシの食痕である。なお、オオバコの葉はテンプラにすると美味しい。



カタバミ (ヤマトシジミの食草)



ヤマトシジミ (園内の各地に生息)



ツマグロヒョウモン♂



ホソヒメヒラタアブ
体長 7~8 mmの小さなハナアブの仲間



オオバコトビハムシの食痕
体長 1.5~2 mmの小さなハムシ

梅ヶ丘駅方向にある“はらっぱ広場”日当たりが良いので、キタキチョウ、ヤマトシジミ、ツマグロヒョウモンなどのチョウ類が見られ、アキアカネ（アカトンボ）が草地の低空を飛んでいた。オンブバッタもいたが少ない。

オンブバッタ
羽根木公園では少ない



【花壇】

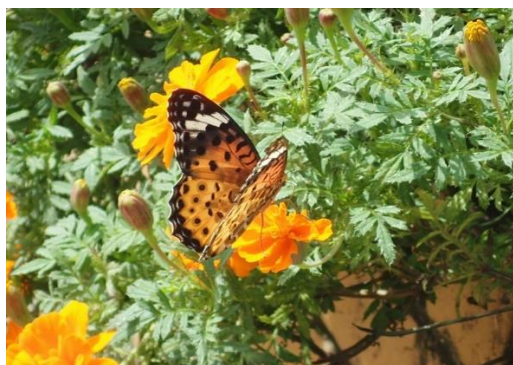
野球場北のトイレ前の花壇は昆虫が頻繁に訪花する。



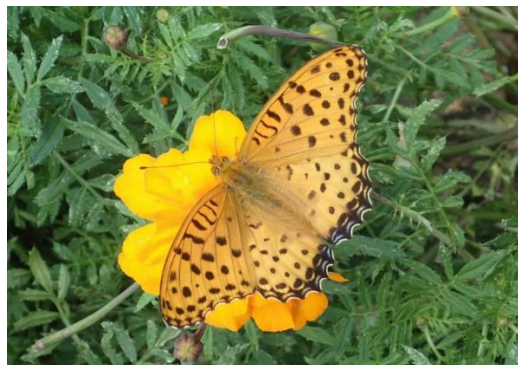
トイレ前の花壇

ブルーサルビア、マリーゴールド、ベコニア、ハナトラノオなどが植栽されていた。

チョウ類ではキタキチョウ、イチモンジセセリ、チャバネセセリ、モンシロチョウ、ツマグロヒヨウモン、キタテハ、ヤマトシジミ、ウラナミシジミ、ナミアゲハなどが見られた。蛾の仲間のシロオビノメイガも訪花していた。キンケハラナガツチバチ、ヒメハラナガツチバチ、セイヨウミツバチなどのおとなしいハチ類も訪花し、クロヒラタアブ、ツマグロキンバエなども見られた。



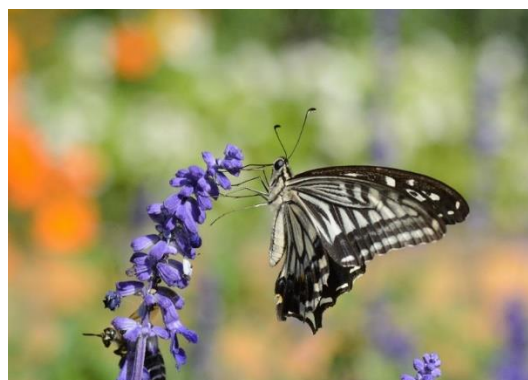
ツマグロヒヨウモン♀



ツマグロヒヨウモン♂



キタキチョウ



ナミアゲハ



ヤマトシジミ



キタテハ



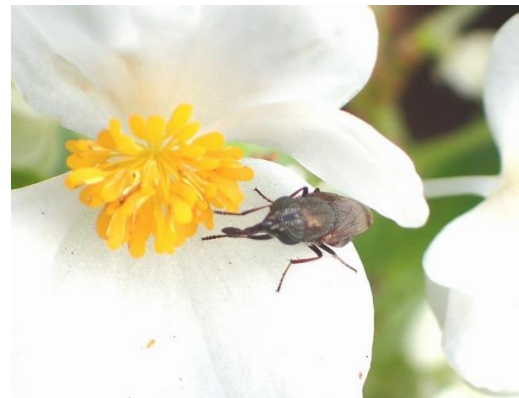
イチモンジセセリ



チャバネセセリ



シロオビノメイガ



ツマグロキンバエ



キンケハラナガツチバチ♀



ヒメハラナガツチバチ♀

(ハラナガツチバチ類は地中のコガネムシ類の幼虫に卵を産む)

東松原駅口にも小さな花壇がある。



東松原駅口の花壇

赤いチェリーセージの植えられた花壇とカタバミやセイヨウタンポポの生育する草地がある。

チェリーセージの赤い花にはニホンミツバチが多く、チャバネセセリ、ウラナミシジミなども訪花していた。カタバミやセイヨウタンポポの花にはヤマトシジミ、キタキチョウ、ツマグロヒョウモン、モンシロチョウなどのチョウ類が見られた。



チャバネセセリ



ウラナミシジミ



モンシロチョウ



ルリマルノミハムシ



ニホンミツバチ



セイヨウミツバチ



ツマグロキンバエ



ホソヒメヒラタアブ

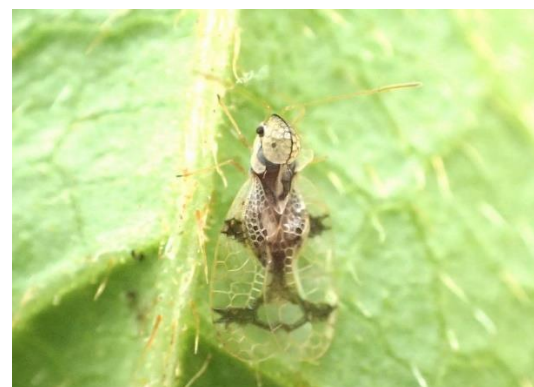
【梅林】

昆虫は少ないが梅林を囲むツツジの葉の一部がツツジゲンバイに吸汁されていた。ツツジに混ざって生育しているヘクソカズラもヘクソカズラゲンバイに吸汁され葉が白くなっていた。また、アベリアの花にツマグロヒョウモン、ナミアゲハが訪花していた。植栽地の一部からはカネタタキやアオマツムシの鳴き声が聞こえた。

図書館方面出入り口の階段脇にはコナラ、クヌギの大木が生育しておりドングリが拾える。



ツツジゲンバイに吸汁された
オオムラサキツツジの葉



ツツジゲンバイ
名前の由来は羽の形が大相撲の行
司が持つ軍配に似ていることから



ヘクソカズラ



ヘクソカズラゲンバイ



ツマグロヒョウモン♂



コナラのドングリ



コナラの葉



クヌギの葉

【その他、園内で見られた植物、動物】

<植物>



イチョウとユリノキ
黄葉が期待できる



ケヤキの紅葉



ハナミズキの紅葉



コブシの花芽
このまま冬を越すので羽毛に被われている



マユミの実
寒くなるとピンク色になる



トウネズミモチの実
黒く熟すと野鳥の餌になる



ナツミカンの実
来年の夏に熟す



ミズヒキ
種は動物にくっついて運ばれる

<動物>



アブラゼミの抜け殻



ゼミの幼虫が出た穴



ナミテントウ



ダンダラテントウ



マツヘリカメムシ (外来種)



ヨコヅナサシガメ (外来種)



クロオオアリ



クロヤマアリの巣穴



ハバチの仲間



アジサイハバチの食痕



カシノナガキクイムシの出したフラス



カシノナガキクイムシによるナラ枯れ



コガタスズメバチ
刺激を与えなければ射されることは無い



キジバト

調査年月日: 令和2年10月21日

羽根木公園 生きもの情報図 (秋編)

